Reedbush-U スーパーコンピュータシステム
「大規模 HPC チャレンジ」申込書

年　月　日

東京大学情報基盤センター長　殿

Reedbush-U スーパーコンピュータシステム「大規模 HPC チャレンジ」について，下記のとおり申し込みます。

<table>
<tr><td colspan="2">プロジェクト申込者
氏名</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">利用希望日
<u>※実施日程をご確認いただき、第 3 希望までご記入ください。希望日の 9 時から 24 時間のご利用となります。</u></td><td>第 1 希望</td><td colspan="3">年　月　日</td></tr>
<tr><td>第 2 希望</td><td colspan="3">年　月　日</td></tr>
<tr><td>第 3 希望</td><td colspan="3">年　月　日</td></tr>
<tr><td colspan="2">所属機関・部局・
職位</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td colspan="2">連絡先 住所</td><td colspan="4">〒</td></tr>
<tr><td>E-mail</td><td colspan="2"></td><td>TEL</td><td></td><td>FAX</td><td></td></tr>
</table>

研究課題名 （日本語）	
研究課題名 （英語）	
概要 （400 字程度）	

研究課題の内容，目標（合わせて 1 ページに収まるようにしてください）
内容について，研究の背景，目標，計算結果の科学的有用性を含め記述してください。また利用予定ノード数の根拠がわかるよう過去の研究事例も踏まえて簡単にご説明ください。
大規模 HPC チャレンジでシステムを占有利用することの意義・必要性 24 時間・420 ノード占有利用する意義・必要性についてご記述ください。

<table>
<tr><td colspan="4">プログラム名：

計算内容（2~3 行）：

（プログラムが複数ある場合は各プログラムに対してシートを複製してご使用ください）</td></tr>
<tr><td colspan="2">プログラムの規模（行数）</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="2">動作させたマシンの実績
プロセッサ数等</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="3">現 状</td><td>最大問題サイズ</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>性能値（ピーク性能比率）</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>最大利用メモリ量</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="5">目 標</td><td>最大問題サイズ</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>性能値（ピーク性能比率）</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>最大利用メモリ量</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">I/O について（推定）
最大規模のジョブ一回あたり</td><td>入力データ</td><td></td></tr>
<tr><td>出力データ</td><td></td></tr>
<tr><td>希望する最大利用ノード数</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="4">大規模データの処理方法，戦略（利用可視化ソフト等）</td></tr>
<tr><td colspan="4">大規模ジョブの実行予定（ノード数，一回あたりの実行時間，ケース数）
可能な限り詳細に記述ください。

例： 420 ノード×2 時間×10 回</td></tr>
<tr><td colspan="4">特記事項（特殊なライブラリ，ソフトウェアの使用など：ご希望に添えない場合もあります）</td></tr>
</table>

要望事項・特記事項(補足内容、当センターの他ユーザー・運用にとっても有用と考えるポイントなど)

研究グループメンバー情報（申込者を含む）（欄が足りない場合は追加してください）

	Reed bush-U 利用	（フリガナ） 氏　名	所属機関・部署・職名	研究課題における 役割
例	■	トウダイ　タロウ 東大　太郎	東京大学・情報基盤センター・教授	とりまとめ
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

※Reedbush-U スーパーコンピュータシステムを利用する方については必ず記載し，「Reedbush-U 利用」に■をつけてください。
※研究グループのメンバー又は申込者が企業の方で Reedbush-U スーパーコンピュータシステムを利用する場合は，別途書類をご提出いただく必要があります。詳細は募集要項をご覧ください。
※外国人や海外在住者等の非居住者を研究グループのメンバーに含む場合には，輸出貿易関連法規に違反しないことの確認をお願いします。利用アカウントを発行できない場合があります。